

## 2025 年6月 ITU-R WP1A 会合報告書(案)

【会合名称】ITU-R WP1A 会合(周波数管理手法に関する作業部会)

【会 期】2025 年 6 月 11 日(水)ー18 日(水)

【開催場所】ITU 本部 /Virtual meeting (Zoom)によるハイブリッド会合

【概 要】

本会合は、今研究会期における第 2 回会合である。ジュネーブ ITU 本部での対面会合と、Zoom プラットフォームを用いたオンライン会合とのハイブリッド形式で行われた。本会合には、45 の主管庁、2 の認定された運営機関、7 の科学又は産業組織、1 の電気通信に関わるその他の組織及び ITU などから計 194 名が参加した<sup>1</sup>。日本からの出席者は表 1 のとおり。

表 1 日本からの出席者(敬称略・順不同)

氏名	所属
1 青野 海豊	総務省 国際周波数政策室
2 絹笠 皓樹	総務省 国際周波数政策室
3 色部 俊昭	総務省 電波環境課
4 横出 智貴	総務省 電波環境課
5 関伽井 琴実	総務省 電波環境課
6 小川 博世	情報通信研究機構
7 久保田 文人	テレコムエンジニアリングセンター
8 庄木 裕樹	エイターリンク
9 山崎 高日子	三菱電機
10 小舘 直人	エイターリンク
11 塚本 悟司	東北大学
12 小林 哲	YRP 研究開発推進協会
13 関野 昇	電気興業
14 藤本 卓也	YRP 研究開発推進協会
15 田中 勇気	パナソニックホールディングス
16 川上 陸	ワシントンコア
17 官澤 彩	ワシントンコア
18 正路 佳代子	ワシントンコア
19 巽 佳奈子	ワシントンコア
20 森 圭子	ワシントンコア

### 1 日本、中国、米国、韓国等からの提案等、計 63 件の入力文書が検討され、24 件の出力文書が作成され(1

文書一覧 参照)、以下の 3 件が SG1 に上程された。

- ITU-R 勧告 SM.328-11(発射のスペクトラムと帯域幅)改訂案(TEMP/30 Rev.1)
- ITU-R 勧告 SM.2110-1(EV 用 non-beam WPT の利用周波数に関するガイドライン)改訂案(TEMP/42 Rev.1)
- ITU-R 勧告 SM.337-6(周波数及び距離の分離基準)エディトリアル改訂案(TEMP/48)

<sup>1</sup> Final list of participants - Working Party 1A (Geneva, 11-18 June 2025) (1A/103)

WP1A 会合の構成は表 2 のとおり。なお、今次会合においては、WP1A 副議長として Lucy Nyakwera 氏(ウガンダ)が就任した。

表 2 WP1A 会合の構成と各グループの担当議題

WP/WG/SWG	検討案件	議長
WP1A 議長		Brandy Jo SYKES 氏 (Apple Inc.)
WP1A 副議長(今次会合において選任)		Lucy NYAKWERA 氏(ウガンダ)
WG1A-1	電力線搬送通信(PLT)システムを含む有線電気通信と無線通信システムの共存及びその関連事項	John SHAW 氏(BBC)
WG1A-2	ワイヤレス電力伝送(WPT)とその関連事項	Frank ERNST 氏(ドイツ)
WG1A-3	WRC-31 暫定議題 2.1 と他の議題及び課題	Brandy Jo SYKES 氏 (Apple Inc.) ※WP1A 議長が代理で実施。引き続き議長を募集中
DG THz 議長	ITU-R 新報告草案 [RADIOCOMMUNICATION SERVICES ABOVE 275GHZ]に向けた作業文書	小川 博世氏(日本)
DG UWG 議長	4.2.1 ITU-R 新報告草案 SM.[UWB.EVOLUTION]に向けた作業文書	Tobias VIERACKER 氏(ドイツ)

表 3 日本提出寄与文書の議論の結果概要

文書番号 (1A/)	件名	審議結果	出力文書 TEMP/
88	Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RADIOCOMMUNICATION SERVICES ABOVE 275 GHz] - Technical and operational characteristics and spectrum use of radiocommunication services in the frequency ranges above 275 GHz	前回会合から持ち越した 1 A/43(WP1A 議長報告 Annex15)に統合され、DG にて審議されたが、情報提供のみの目的 (For information only)と明記して、議長報告に添付して次回会合に持ち越すこととなった。	31
89	Proposal for a draft liaison statement to ETSI ISG THz - Publication of ETSI GRs THz 003 and 004	外部組織へのリエゾン文書であることを理由に反対意見が寄せられ、リエゾン文書の発出に至らなかった。	なし
90	Proposal for a draft liaison statement to APT Wireless Group - AWG deliverables in the frequency above 252 GHz	外部組織へのリエゾン文書であることを理由に反対意見が寄せられ、リエゾン文書の発出に至らなかった。	なし
91	Proposal for development of new Report on the usage overview of Wireless Power Transmission (WPT)	米国、英国、中国、スイス等から新報告策定への反対意見が寄せられ、入力文書のまま次回会合に持ち越すこととなった。	なし

## 2 WP1A プレナリ

### 2.1 WP1Aプレナリで扱われた文書の審議

入力文書：1A/43(+Corr.1)(WP1A 議長報告)、51(WP1B)、55(CCT)、59(ITU-T SG20)、61(SCV)、64 Rev.1(ITU-T SG2)、72(CG 議長)、78(BR 局長)、87(CG 議長)、1/1 Rev.1(SG1 議長)、27 Rev.1(SG1 議長)

出力文書：なし

前回会合の WP1A 議長報告(1A/43(+Corr.1))や SG1 会合の結論の要約(1A/27 Rev.1)が了知された。また、表 4 のリエゾン文書等が紹介され、すべて情報として了知された。

表 4 WP1A プレナリで了知されたりエゾン文書

文書番号 (1A/)	提出元	概要
51	WP 1B	UWB は「Ultra-wideband」の略語として ITU データベースへの登録を求める CCT 宛てのリエゾン文書(WP1A にはコピー送付)。
55	CCT	1A/51 に対する返答リエゾン文書。WP1B からの要請に対して、ITU-T SG11、17、20 が作成した勧告で UWB を異なったスペルで使用しているため、それらの SG 宛てに統一されたスペルを使用するよう連絡している(WP1A にはコピー送付)。
59	ITU-T SG20	IoT、スマートシティ、コミュニティに関する調整活動(JCA-IoT and SC&C)の ToR の改訂内容の確認を TSAG に提案するリエゾン文書。
61	SCV	2025 年 1 月に開催された CCT で実施した ITU-T SG5 で使用されている用語「spark-over voltage」の用語をレビューした結果を連絡するリエゾン文書。
64 Rev.1	ITU-T SG2	屋内ネットワークカバレッジの提供に関する技術的考慮事項と課題対処の補足文書であり、QoS と EMF の重要な側面に焦点を当てている E.370.Suuppl-IECT が作成中であることを周知するとともに、ITU-T SG5、SG12、ITU-R 各 SG への協力を要請するリエゾン文書。
78	BR 局長	RAG-32 の結果概要(CA/277)を周知し、SG 及び WP に追加情報の提供を行う文書。

### 3 WG1A-1:電力線搬送通信(PLT)システムを含む有線電気通信と無線通信システムの共存及びその関連事項

#### 3.1 有線アクセス及びホームネットワークシステム(PLTシステムを含む)

入力文書:1A/45 (ITU-T SG15)、46 (ITU-T SG15)、52 (WP6A)、66 (WP6A)、68 (ITU-T SG15)、87 (§ 2.2、2.3、Annexes 2、3 (CG 議長))

出力文書:なし

MIMO PLT 標準化作業やアクセス網(Access Network Transport:ANT)、ホームネットワーク(Home Network Transport:HNT)に関連する以下のリエゾン文書及び CG 議長報告の一部を全て情報として了知した。

表 5 有線アクセス及びホームネットワークシステム等に関連して了知されたリエゾン文書

文書番号 (1A/)	提出元	概要
45、46、68	ITU-T SG15	ITU-T SG15 からの ANT と HNT に関する最新情報を伝えるリエゾン文書。
52	WP6A	NB-PLC は、MF、LF の放送業務との共用が可能な技術であり、電力線からの RF ノイズ干渉に対して有効な方法であることを伝える WP6A から ITU-T SG15 への返答リエゾン文書。
66	WP6A	ITU-T SG5、SG15、CENELEC 宛の、PLT に関連する高信号レベルについての問題を掘り下げたリエゾン文書。
87	CG 議長	CENELEC での MIMO PLT 標準化作業について、PLT が電力線で RF 信号を使用する際の干渉リスク、屋外 PLT システムの利用についての報告 (§ 2.2、2.3、Annexes 2、3)。

#### 3.2 可視光線ブロードバンド通信

入力文書:1A/43(WP1A 議長報告 Annex 2)、70 (ITU-T SG15)、71 Rev.1 (ITU-T SG15)、74 (中国)、77 (WP5C)、100 (WP3M)、

出力文書: 1A/TEMP/33 Rev.1、34

前回会合から持ち越された、ITU-R 報告 SM.2422-2(可視光線ブロードバンド通信)改訂草案に向けた作業文書(1A/43 WP1A 議長報告 Annex 2)に対し、中国から新たな研究結果に関する寄与文書(1A/74)を統合し、改訂草案へ格上げした(TEMP/33 Rev.1)。

ITU-T SG15 で検討している新勧告(短距離インターフェースを用いたモバイルバックホール向け地上自由空間光通信)に関して、情報提供を呼びかけるリエゾン文書(1A/71 Rev.1)に関連して、米国から、本件は WRC-12 で検討された自由空間光通信の伝搬損失に関するものであり、CPM 報告において ITU-R での所掌範囲であると明確に示されていることが説明された。また、ITU 憲章では周波数の制限なく研究を行うことが認められているが、無線通信の定義上は 3,000GHz までに制限されている点が指摘された。ロシアもこれを支持し、ITU-R における自由空間光通信システムの規制は現時点では不要であることを強調し、ITU 条約における電気通信の定義により、自由空間光通信は ITU-R、有線光通信システムは ITU-T の担当であることを指摘した。これらの議論を受けて、ITU-T SG15 に対して自由空間光通信は ITU-R の所掌範囲であり、ITU-T がその所掌範囲を逸脱している可能性に関して懸念を表明する返答リエゾン文書(TEMP/34)を作成・発出した。

表 6 可視光線ブロードバンド通信に関連して了解されたリエゾン文書

文書番号 (1A/)	提出元	概要
70	ITU-T SG15	450 GHz 以上の周波数帯での通信について。
77	WP5C	WP5C から ITU-T SG15 に対し、ITU-R 報告 F.2106 (自由空間光リンクを使用した固定業務の応用)について注意をするように周知 WP5C から ITU-T SG15 会合に対する返答リエゾン文書。
100	WP3M	ITU-R WP3M から ITU-T SG15 への返答リエゾン文書。G.fso の自由空間光学システムに関係する文書として、ITU-R 勧告 P.1814 に関連する情報が記述されていることを周知している。

### 3.3 EMC関連干渉やRFノイズに関するCGの活動報告

入力文書:1A/87(WP1A-CG 議長)

出力文書:なし

WG1A-1 に設置されている「EMC に関する WP1A コレスポンデンスグループ」(以下、「CG-EMC」、議長:John Shaw 氏(BBC))の議長報告(1A/87)に沿って以下が報告され、すべて情報として了解された。

表 7 CG EMC からの報告

主題	概要
無線通信業務を保護するための EMC 放射限界の手法と有効性(CISPR TR 16-4-4 モデル <sup>2</sup> の見直しに関する CISPR との協働)	CISPR による TR16-4-4 報告書の改訂作業が完了し、TR 16-4-4 の方法論が大幅に修正されたことを報告。ITU-R 報告 SM.2180 が TR 16-4-4 を基にしているため、改訂が必要であると指摘している。
RF ノイズに関する課題	RF ノイズの測定結果が報告され、新しい屋内無線ノイズモデル:広帯域ガウスノイズ測定で観察された振る舞いを考慮し、屋内環境での人為的ノイズの変動性(デバイスタイプや距離依存性)を反映したモデルが提案された。
PLT に関する欧州電気標準化委員会(CENELEC)との協働 (ITU-R 研究課題 221-2/1)	欧州電気標準化委員会(CENELEC)における MIMO PLT に関する議論の現状等の報告。同技術に関する標準化作業が ITU-T SG5 及び CENELEC で進行中であることが報告された。

### 3.4 ITU-R研究課題243/1(電気・電子機器から発生する非意図的無線周波数エネルギーが無線通信サービスに与える影響)に関する議論

入力文書:1A/76 Rev.1(オランダ)

出力文書:1A/TEMP/45

オランダからの寄与文書(1A/76 Rev.1)は、ITU-R 研究課題 243/1(電気・電子機器から発生する非意図的無線周波数エネルギーが無線通信サービスに与える影響)の適用範囲について、衛星に搭載される電子機器からの意図しない無線周波数エネルギー(Unintended Electromagnetic Radiation:UEMR)が電波天文業務に与える影響が含まれるかの明確化を求め、さらに本研究課題の範囲を拡大し、衛星からの UEMR に焦点を当てた新たな研究を開始することが提案された。一方で、米国等から、この研究課題は元々地上業務で運用される機器を対象としており、衛星は対象としていない点が指摘された。オランダの提案に対し CRAF(Civil Reserve Air Fleet)や SKAO(Square Kilometre Array Observatory)

<sup>2</sup> 不確かさ、統計値及び限度値モデリング—不具合報告の統計値及び限度値の計算のためのモデル

などの WP7D にも参加している組織が ITU-R 研究課題 243/1 の適用範囲を明確化し、規制上の解決策を模索する取り組みを支持したため、衛星からの UEMR が電波天文業務に与える影響に関して WP1A が助言する意向があることを知らせるリエゾン文書案(TEMP/45)が作成されたが、イランは WP7D が既に議題 1.16 に関する重要な研究で多忙であることを踏まえ、リエゾン文書送付に強く反対したため、合意に至らず、発出は見送られた。このような経緯を経て、リエゾン文書の発出にも WP1A 議長報告に添付することに関しても合意に至らなかったことを考慮し、米国の提案により、同文書を WG1A-1 議長報告に添付することとした。

### 3.5 その他の活動に関するCISPRとのリエゾン活動

入力文書: 1A/47 (オランダ)、53 (WP6A)、56(CISPR/H)、99 (SG1 ラポータグループ CISPR-WPSG1)

出力文書: なし

以下の CISPR に関するリエゾン文書は全て了知された。

表 8 CISPR に関連するリエゾン文書

文書番号 (1A/)	提出元	概要
47	オランダ	許容値導出法である CISPR TR 16-4-4 に 40GHz までの帯域を追加する改正の検討が CISPR/H で進められていることについて、ミリ波帯を利用する WP5D に対して当該改正文書について注意を払うよう要請することを提案。
53	WP6A	ITU-R 勧告 BS/BT.1895「地上放送システムに対する保護基準」では、無線通信規則で対応する周波数割り当てがない全ての放射からの受信機における干渉の合計は、受信システムの総雑音電力の 1%を超えないことを推奨。WP6A は、CISPR が無線サービスデータベースを簡素化して、特定の周波数範囲内のすべての放送アプリケーションが適切に保護されるようにすることを提案。
56	CISPR/H	自動車からの妨害波に関する許容値を定める CISPR 12 の第 7 版への改定が最終段階に達したことから、当該改定案について ITU-R に対してコメントを求めるもの。自動車からの妨害波に関する許容値を定める CISPR 12 の第 7 版への改定が最終段階に達したことから、当該改定案について ITU-R に対してコメントを求めるもの。
99	SG1 RG CISPR- WPT	2024 年 6 月から 2025 年 6 月までの間の CISPR における WPT 問題に関する活動として、EV 用 WPT に関する要求条件の検討、家電用 IPT(Inductive Power Transfer)に関する妨害波許容値の情報、マルチメディア機器用の WPT に関する検討、共通規格である IEC 61000-6 における WPT の要求条件の検討、beam WPT に関する CISPR PAS 38 の発行等について、報告している。

### 3.6 用語の調整

入力文書: 1A/54 (CCT)、58 (ITU-T SG12)、60(SCV)、63 (WP5D)、75 (CCT)

出力文書: 1A/TEMP/32 Rev.1、44(プレナリで承認されず本リエゾン文書の発出は見送られた)

SCV から受領した Out of band (PLC: power line communication)、PLC operating bandwidth の用語の定義変更に関するリエゾン文書(1A/60)に関しては、PLC ではなく ITU-R で使用している PLT(Power Line Telecommunication)の使用や「Out-of-Band」及び「Operating Bandwidth」ではなく、ITU-T 勧告 G.9964 で採用されている用語(Band-Plan、Baseband、Passband 等)の使用を推奨するリエゾン文書(TEMP/32 Rev.1)を作成し、承認された。

ITU-T SG5から CCT に提出された電磁妨害(Electromagnetic Disturbance)、意図的エミッタ(Intentional Emitter)及び非意図的エミッタ(Unintentional Emitter)、電磁波放射セキュリティ(Electromagnetic Emanation Security)という用語を ITU terms and definitions database に登録することについて、CCT から WP1A 宛てにフィードバックを求めるリエゾン文書(1A/75)を受領した。これに対し、ITU-T、ITU-R、IEC/CISPR 間で用語の違いがあることを指摘し、用語の統一や明確化を図るための提案を含む返答リエゾン文書案が作成されたが、ITU-T の業務範囲や用語定義に干渉することにイランが異議を示したほか、共通の見解に至らなかったことを連絡する返答リエゾン文書案(TEMP/44)についてもプレナリで棄却されたことから CCT に対するリエゾン文書の発出は見送られた。

これらを含む WG1A-1 で審議された用語に関するリエゾン文書の審議結果は以下のとおりである。

表 9 WG1A-1 で審議された用語に関するリエゾン文書

用語	入力文書 (1A/)	提出元	概要	対応
Out of band (PLC)、PLC operating bandwidth	60	SCV	ITU-T 用語調整委員会(Standardization Committee for Vocabulary:SCV)から、「Out of band (PLC)」、「PLC operating bandwidth」の用語の定義変更に関するリエゾン文書。	返答リエゾン文書(TEMP/32 Rev.1)を発出
電磁妨害、意図的/非意図的エミッタ、電磁波放射セキュリティ	75	CCT	ITU-T SG5から提出された電磁妨害、意図的/非意図的エミッタ、電磁波放射セキュリティという用語を定義し、ITU 用語と定義データベースに登録したい申請があったことに関して、WP1A からのフィードバックを求める CCT からリエゾン文書。	返答リエゾン文書案(TEMP/44)が作成されたが発出は見送り
conducted radio frequency connection	54	CCT	CCTにおいて、ITU-T SG12 から ITU-勧告 G.1052 に含まれる「conducted radio frequency connection」の用語に関して意見を WP1A 及び WP5D に求めるリエゾン文書。	了知
	58	ITU-T SG12	ITU-T SG12 から WP5D と WP1A 宛のリエゾン文書で「conducted RF connection」と「Network usage scenario」に関して用語を修正する提案。	了知
	63	WP5D	ITU-T SG12 における「conducted radio frequency connection」の定義に関する CCT への返答リエゾン文書。	了知

## 4 WG1A-2:無線電力伝送(WPT)及びその関連事項

### 4.1 ITU-R新報告策定提案

入力文書:1A/91(日本)

出力文書:なし

日本から、無線電力伝送(Wireless Power Transfer:WPT)の利用概観に関する新報告策定を提案した(1A/91)。同提案に対して、各国主管庁から主に以下の見解が述べられた。

- 米国から、既存の WPT 関連の文書を必要に応じて改訂すれば十分であり、新報告策定の必要性が不明瞭であるとして日本提案に反対の立場が示された。
- 英国から、日本が提案した新報告は他の既存文書への参照が多く、それらの文書の改訂のたびに更新しなければならないような新報告は不要であるとの見解が示された。代替案として、既存文書の冒頭にサマリー文を追加すれば十分であるとの見解を示し、米国、中国、スイスも同意した。また、WRC-31 暫定議題に関する作業を現時点で開始するのは時期尚早であるとの見解も示された。
- 中国から、新報告策定の必要性が不明瞭であることや新報告に記載すべき情報量が多すぎることに懸念が寄せられた。また、既存の文書との重複を避けることも重要であり、新報告策定を進める場合はスコープを文書冒頭に明記することが要求された。

日本が提案した新報告策定に対して、ATDI は支持を表明したものの、各国主管庁からの賛成意見がなかったことから、入力文書のまま次回会合に持ち越すことで合意した。また、米国から、日本提案の新報告内に記載されている WPT 全体を俯瞰して整理している図 4-1 (WPT technologies and their applications)を既存の各種文書に転載して各文書が扱う WPT の位置づけを明確にするといった今後の進め方が提案された。

### 4.2 Non-Beam WPTに関する研究

#### 4.2.1 EV用WPTに関する研究

##### ①ITU-R 勧告 SM.2110-1(EV 用 non-beam WPT の利用周波数に関するガイドライン)改訂案

入力文書:1A/43(WP1A 議長報告 Annex 4)、81(米国)、85(韓国)、93(英国)、95(ATDI)

出力文書:1A/TEMP/42 Rev.1

米国、韓国、英国、ATDI からの以下の寄与文書を基に ITU-R 勧告 SM.2110-1 の表 1 (Frequency ranges for operation of non-beam WPT systems for electric vehicles)及び同表下の注釈部分について主に議論が交わされた。

表 10 ITU-R 勧告 SM.2110-1 の改訂に関する寄与文書の概要

文書番号 (1A/)	提出元	概要
81	米国	主に表 1 内の「55-57kHz」及び「63-65kHz」の記載を削除しつつ、WPT 機器と標準周波数報時業務(Standard Frequency and Time Signal Service: SFTS)受信機との間の距離に応じて、第 3 次高調波(third harmonic)の周波数範囲及び WPT による発射の上限値を定めている同表下の注釈を一部修正して残したまま、改訂草案から改訂案に格上げすることを提案している。
85	韓国	主に表 1 内の「55-57kHz」及び「63-65kHz」と同表下の注釈全体の削除を提案している。
93	英国	同表下の注釈に、3 次高調波の範囲と放射エミッションの上限を定めることは



		60kHz 付近の SFTS への干渉を避けるための制限であると明記することを提案している。
95	ATDI	他の寄与文書(韓国及び米国)の内容を考慮し、同表から「55-57kHz」及び「63-65kHz」の削除、磁界共鳴方式(Magnetic Resonance Coupling:MRC)と電磁誘導方式による電力伝送(Inductive Power Transfer:IPT)の相違点を説明する 2 つ目の注釈の追記、文書全体の構成の整理などを提案している。

米国、英国、フランス、中国から、同勧告の表 1 に記載されている「55-57kHz」及び「63-65kHz」の削除が提案された。また、日本から、同表下の注釈全体の削除が提案されたが、英国や米国は注釈を残すよう求めるなど意見が割れたため、オフラインメール活動グループ(Convenor:英国)を設置して、米国、英国、中国、ロシア、韓国、ATDI、フランス、オランダ、ブラジル、日本、ウガンダが議論を行った。

審議の結果、表 1 内の「55-57kHz」及び「63-65kHz」を削除したほか、同表下の注釈に 60kHz における SFTS 保護に関する内容を反映する修正を行い、注釈自体は残すこととなった。なお、ATDI が提案した 2 つ目の注釈は追記されないこととなった。他にも文書全体に細かな修正を行ったうえで、改訂草案から改訂案へと格上げし、SG1における承認を目指して WP1A プレナリに上程することとなった(TEMP/42 Rev.1)。

## ②ITU-R 報告 SM.2451-1(30MHz 未満で動作する電気自動車の WPT による無線通信サービスへの影響の評価)改訂草案に向けた作業文書

入力文書:1A/43(WP1A 議長報告 Annex 5)、73(中国)、80(米国)、94(ATDI)

出力文書:1A/TEMP/40

中国から、同国国内の WPT 規制に関する情報を Annex 5(WPT-EV impact study from China)に追加することが提案された(1A/73)ほか、米国から、AM ラジオへの潜在的なシングルキャリアノイズに関する試験データ等を Annex 8(Analysis of the impact of WPT systems to broadcasting services)に追記したうえで、作業文書から改訂草案に格上げすることが提案された(1A/80)。また、ATDI から、米国と中国それぞれの寄与文書を考慮した上で、米国が提案した作業文書から改訂草案への格上げを支持することと Annex 8 への追記を提案する独自見解をまとめた文面が提示された(1A/94)。

米国から、ATDI の入力文書は、米国の入力文書に関する誤った情報が記載されているとして了知するのみとすることが提案され、フランス、BBC もこれを支持した。一方、中国及び米国の提案内容は特段の変更なく反映された。また、オランダの提案に基づき、放送業務に対する WPT システムの影響に関する Annex 8 について、同じ方法論で研究を実施したとしても毎回同じ結果が出るわけではないことに留意を促す 1 文をセクション Annex 8.1 に追記した。さらに、前回会合から議長報告に添付して持ち越された文書に残されていた韓国のインパクトスタディに関する編集者注(Editor's note)の文面を修正して Annex 6.1.4 に移動したほか、エディトリアルな修正などを行った。

以上の審議を経て、本文書は作業文書のまま維持し、議長報告に添付して次回会合に持ち越して議論を継続することとなった(TEMP/40)。

## 4.3 Beam WPTに関する研究

### 4.3.1 モバイル・ポータブルデバイスやセンサーネットワーク用のBeam WPTに関する研究

#### ①ITU-R 勧告 SM.2151-0(モバイル・ポータブルデバイスやセンサーネットワーク用の Beam WPT の利用周波数のガイドライン)改訂草案

入力文書:1A/43(WP1A 議長報告 Annex 7、10)、84(米国)、98(インド)

出力文書:1A/TEMP/41 Rev.1、50 Rev.1

米国から、ITU-R 報告 SM.2505 改訂に向けた議論に基づき、ITU-R 勧告 SM.2151 改

訂草案に向けた作業文書内の表 1(Frequency ranges for operation of beam WPT)に「24.1-24.15GHz」を追記して、改訂草案に格上げすることが提案された(1A/84)。また、インドから、同表に「122-123GHz」及び「244-246GHz」を追加することが提案された(1A/98)。これらの入力文書 2 件の審議結果は以下のとおりである。

- 表 1 への「24.1-24.15GHz」の追記は特に異論無く反映された。
- 表 1 への「122-123GHz」及び「244-246GHz」の追記について、ロシア、米国、日本、オランダ、スイス、ATDI 等から、それらの周波数帯の追記を正当化するインパクトスタディが実施されていないことを理由に現時点では追記すべきでないとの見解が示された。そのため、現時点ではインドが提案した周波数帯を追記せず、次回 WP1A 会合以降にインパクトスタディが実施された際に再度議論することとなった。
- ロシアから、勧告内に記載されている IMT 受信機に関するブロッキング効果に関する値が不正確なため、WP5D に正しい値を確認するリエゾン文書を送付することが提案され、同国と WG1A-2 議長がリエゾン文書を作成することとなった。これに関連して、ロシアから、「beam WPT 機器に用いられる周波数帯(900MHz、2.4GHz、24GHz)」について WP5D から提供される IMT 受信機のブロッキング効果に関する情報に基づいて今後検討する」といった内容の編集者注を残すことが提案された。これに対して、日本から、900MHz と 2.4GHz の研究については既存の文書に記載されていることから、これらの周波数帯の削除を提案したが、米国から、24GHz も同様に研究を蓄積しているため、900MHz と 2.4GHz と同様の基準で扱うべきだとして編集者注全体の削除が提案された。最終的には、ロシアの提案に基づき、編集者注においては具体的な周波数帯への言及を避け、「WPT 機器が IMT に与える影響については 2026 年 6 月の次回 WP1A 会合で議論する」と修正することで合意した。

これらの議論を経て、作業文書から改訂草案に格上げし、議長報告に添付して次回会合に持ち越して議論することで合意した(TEMP/41 Rev.1)。また、ロシアからの提案を受け IMT 受信機のブロッキング効果に関する追加情報を求める WP5D 宛てリエゾン文書も発出した(TEMP/50 Rev.1)。

### 4.3.2 Beam WPT全般に関する研究

#### ①ITU-R 報告 SM.2505-0(インパクトスタディ及び人体への危険性の検討)改訂草案

入力文書:1A/43(WP1A 議長報告 Annex 9)、49(WP7D)、50(WP4C)、69(WP7C)、83(米国)

出力文書:1A/TEMP/37、38、39、43 Rev.1

米国から、24.1-24.15GHz における beam WPT の共用検討の結果をまとめた Annex の内容を修正し、作業文書を改訂草案へと格上げすることが提案された(1A/83)。また、同報告への追記や修正を提案するリエゾン文書 3 件(1A/49、50、69)が提出された。

ロシアから、表 A2.5(Power budget for 24.25-27.5 IMT UE Impact)の数値がブロッキング効果による IMT 受信機への影響を考慮していないため不正確であることや表 1(Examples of radio characteristics of beam WPT systems)内のシステム 7 に記載されている数値が不正確であることといった指摘を受けて、米国が主導してオフラインで議論した結果、(表 1 には特に修正を加えなかったものの)ロシアの指摘に対応する形で表 A2.5 を修正したほか、他の箇所にも追記・修正を行った。なお、それらの米国の修正点については特段の異議無く概ね反映された。また、上記 ITU-R 報告 SM.2151 の改訂に向けた議論の結果を受けて、IMT 報告 SM.2505-0 改訂草案に向けた作業文書の冒頭に「WP5D から提供される情報に基づき、beam WPT 機器の使用に関する ITU-R 勧告 SM.2151 改訂草案に記載のある一部の周波数帯(900MHz、2.4GHz、24GHz)については IMT 機器のブロッキング効果の点からさらなる検討が必要である」との編集者注も加えた。

これらの審議を経て、作業文書を改訂草案に格上げし、議長報告に添付して次回会合に持ち越して議論を継続することとなった(TEMP/43 Rev.1)。

また、WP7C と 7D からの提案内容を ITU-R 報告 SM.2505-0 に反映したことを伝え

る返答リエゾン文書(TEMP/38、39)の発出にも合意した。一方、WP4C からのリエゾン文書(1A/50)について、同文書が ITU-R 報告 SM.2505-0 ではなく、別の文書(ITU-R 報告 SM.2392-1)を誤って参照していることを伝える返答リエゾン文書を発出することとなった(TEMP/37)。この点について、米国から、前回 WP1A 会合で WP4C 宛てに発出したリエゾン文書の時点でその誤りを犯していたことが指摘され、そういったこれまでの経緯を把握できるよう WP4C からのリエゾン文書を入力文書のまま次回会合に持ち越すことが提案され、合意した(1A/50)。

#### ②ITU-R 報告 SM.2392-1(Beam WPT アプリケーション)改訂草案

入力文書:1A/43(WP1A 議長報告 Annex 8)、79(ブラジル)

出力文書:1A/TEMP/29 Rev.1

ブラジルから、ITU-R 報告 SM.2392-1 のセクション 2.1(Wireless powered sensor network)にブラジルにおける Wireless Powered Communication Networks (WPCNs)の利用状況について追記することが提案された(1A/79)。

英国から、主管庁が提出した研究部分には修正を加えないことが慣習となっていることが指摘され、ATDI もこれを支持、ブラジルからの提案を作業文書に反映することで合意した。WG1A-2 議長から、同文書について過去 4 年にわたって議論を重ねており、十分成熟しているとして改訂草案への格上げが提案された。中国から作業文書のままとすべきとする意見が述べられたものの、最終的には改訂草案に格上げし、議長報告に添付して次回会合に持ち越すことで合意した(TEMP/29 Rev.1)。

## 4.4 WPTに関連したCISPRとの協働

---

入力文書:1A/99(WPT に関する SG1 の CISPR ラポータ)

出力文書:なし

WPT に関する SG1 の CISPR ラポータ(久保田氏)から、2024 年 6 月から 2025 年 6 月までの間の CISPR における WPT に関する活動成果が報告された(1A/99)。報告後、中国から、セクション 3.1 の「CISPR PAS 38 applies to RB-WPT as ISM equipment」と「only if they are not classified as radio apparatus.」にある「ISM equipment」と「radio apparatus」の相違点及び関係性に関して説明が求められた。久保田氏から、「radio beam WPT」を「ISM equipment」とみなす主管庁もあるが、そうでない主管庁もある点が説明された。BBC から、主管庁ごとに異なる語彙(「ISM equipment」や「radio apparatus」)が同じものを指していると混乱を招く可能性があるため、「WPT equipment」の定義についてセクターメンバーが議論することが望ましいと指摘された。その他特段の議論無く了知された。

## 4.5 その他

---

入力文書:1A/44(CPM 議長)、67(WMO)、87(CG 議長)

出力文書:なし

CPM テキスト案の締め切りや書式等の周知を行う CPM 議長からのリエゾン文書(1A/44)、世界気象機関(World Meteorological Organization:WMO)の各 WRC-27 の議題に関する暫定見解をまとめた同機関からのリエゾン文書(1A/67)、ITU-R 研究課題 221-2/1 に関する CG 議長からのリエゾン文書(1A/87)が紹介され、3 件とも特に異論なく了知された。

## 5 WG1A-3:WRC-31 暫定議題 2.1 とその他

### 5.1 不要発射に関する研究

---

#### 5.1.1 ITU-R勧告SM.328-11(発射のスペクトラムと帯域幅)改訂案

入力文書:1A/43(WP1A 議長報告 Annex 18)、65(ロシア)、92(英国)  
出力文書 1A/TEMP/30 Rev.1

ITU-R 勧告 SM.328-11(発射のスペクトラムと帯域幅)に新たに追加される第 5 章(必要な帯域幅の特性)において、ロシアから必要帯域幅は送信機だけでなく受信機にも適用される点の明確化(1A/65)及び英国の寄与文書(1A/92)により文言の明確化や補足修正が反映され、完成したことから ITU-R 勧告 SM.328-11 改訂案として SG1 に上程した(TEMP/30 Rev.1)。

### 5.2 UWBに関する研究

---

#### 5.2.1 ITU-R新報告草案SM.[UWB.EVOLUTION]に向けた作業文書

入力文書:1A/43(WP1A 議長 Annex 12)、72 (CG 議長)、82 (米国)、96 (ドイツ)  
出力文書:1A/TEMP/46

ITU-R 報告 SM.[UWB.EVOLUTION]については、CG 議長からの活動報告(1A/72)を了知した上で、DG(議長:Tobias Vieracker 氏(ドイツ))を設置して審議した。前回会合から持ち越した作業文書(1A/43 WP1A 議長 Annex 12)に最新の市場動向及び UWB 技術の進展に関して追記することを提案する米国からの入力文書(1A/82)及び技術的背景と応用事例を追記することを提案するドイツからの入力文書(1A/96)を反映させたうえで、議長報告に添付して次回会合へ持ち越すことで合意した(TEMP/46)。

#### 5.2.2 ITU-R勧告SM.1755-0(UWB技術の特性)及びITU-R報告SM.2057-0 (UWB機器の無線通信への影響)改訂草案に向けた作業文書

入力文書:1A/43(WP1A 議長 Annex 11)、97(ドイツ)  
出力文書:なし

既存の ITU-R 勧告 SM.1755-0(UWB 技術の特性)の記載内容が古いことから、ドイツから同報告の UWB 技術やそれを用いたアプリケーション等を更新することが提案された(1A/97)。オフラインで審議した結果、新技術の取り扱いについて慎重に検討する必要があるとし、今会合では改訂作業を開始しないことで合意した。また、ITU-R 報告 SM.2057-0 改訂草案に向けた作業文書も前回会合から持ち越されていたところ、今回は入力文書がなかったことから、そのまま次回会合へ持ち越されることとなった。これら 2 件の文書について上述の ITU-R 新報告 SM.[UWB.EVOLUTION]の作成を待ち、その内容を以って、改めて更新が必要かを検討することとされた。

#### 5.2.3 WP1Bへの返答リエゾン文書

入力文書:1A/102(WP1B 議長)  
出力文書:1A/TEMP/35 Rev.1

CCT から WP1B へ UWB の定義に関してリエゾン文書が送付され、Steering Committee にて WP1B から CCT へ返答リエゾン文書を送付することが決定されたもの

の、これに先駆けて、WP1B から CCT への返信リエゾン文書案に関して WP1A へ内容を照会するリエゾン文書(1A/102)を受領したことから、これを審議し、WP1B に対して UWB を定義している ITU-R 勧告 SM.1755-0 が WP1A の所掌であること、及び WP1B が提案した定義に関して WP1A が合意したことを知らせる返答リエゾン文書が作成され、承認された (TEMP/35 Rev.1)。

## 5.3 ITU-R新報告草案[ACTIVE SERVICES BETWEEN 275 AND 450GHZ ]に向けた作業文書

---

入力文書:1A/43(WP1A 議長 Annex 15)、88、89、90(日本)

出力文書:1A/TEMP/31

テラヘルツに関する DG(議長:小川氏)が設置され、ITU-R 研究課題 237/1(275-1,000GHz 帯域で運用される能動業務の技術運用特性)に基づき 275GHz 以上の帯域における技術運用特性や周波数利用に関する新報告草案に向けた作業文書に関する日本からの入力文書が審議された。

前回会合から持ち越された作業文書(1A/43 WP1A 議長 Annex 15)に、能動業務の研究を行う ITU-R 研究課題 237/1 との整合を図り、技術動向について更新を提案する日本からの入力文書(1A/88)が反映された文書を DG にて審議した。イランが 450GHz を超える周波数帯については十分な測定データや実証が存在しないこと、及び文書全体の一貫性や中立性の欠如を理由に強く反対したため合意にいたらず、ITU-R 新報告草案 SM.[ACTIVE SERVICES BETWEEN 275 AND 450GHZ]と名称を変更し、さらに情報提供のみを目的として議長報告に添付されることとなった(TEMP/31)。これは次回会合において再度寄与文書が提出されないかぎり議論しないことを意味することが確認された。

また、ETSI ISG THz で作成したグループレポートを周知するリエゾン文書(1A/57)及び 252GHz 以上に関連した APT 報告 2 件を周知するリエゾン文書(1A/48)に対する返答リエゾン文書、ETSI 及び AWG に対して 275GHz 超の周波数帯における無線通信サービスの利用状況及び技術的・運用的特性に関する情報提供と意見・追加情報の要請することを提案する日本からのリエゾン文書案(1A/89、90)についても、ETSI や AWG のような外部の標準化団体や地域機関は、ITU-R の公式な作業手順や合意形成の枠組みの外にあるため、ITU-R から公式にリエゾン文書を送付するのは適切ではないという意見がイランから示され、送付しないことで合意した。

## 5.4 その他

---

### 5.4.1 WRC-27議題1.10(71-76 GHz及び81-86 GHz帯における固定、移動業務保護のための固定衛星、移動衛星、放送衛星業務に関する無線通信規則第21条におけるpfd及びEIRP制限の検討)

入力文書:CA/270 Add.1 (Annex 1)

出力文書:なし

WRC-27 議題 1.10 の寄与グループから除外してほしいという WP1A の要請が受理され、CA/270 が更新されたことが了知された。

### 5.4.2 周波数と距離の分離

入力文書:1A/86 Rev.1(WP5B)

出力文書:1A/TEMP/48、49

WP5B からのリエゾン文書(1A/86 Rev.1)で、ITU-R 勧告 M.1461(電波測定業務にお

けるレーダーと他の業務のシステム間の干渉の可能性を判定する手続き電波測定業務におけるレーダーと他の業務のシステム間の干渉の可能性を判定する手続き)において数値を計算する際に引用している ITU-R 勧告 SM.337(周波数及び距離の分離基準)に記載されている on-tune rejection (OTR) について質問があった。このリエゾン文書では k パラメータの非コヒーレント信号値が3訂版では、「10 for non-coherent signals and 20 for pulse signals」とされているが、4～6訂版では、「20 for non-coherent signals and 20 for pulse signals」となっている点を指摘し、前者が適当との見解が示された。これに関して ITU-R 勧告 SM.337 の編集履歴を調査したところ、転載する際のミスであることが判明したことから、WP5B に対して調査結果及び3訂版の値が正しいことを知らせる返答リエゾン文書(TEMP/49)を作成・発出した。また ITU-R 勧告 SM.337-6 の編集上の改訂草案(TEMP/48)は改訂案に格上げされ、SG1 における承認を目指して、WP1A プレナリに上程された。

### 5.4.3 用語と定義に関して

入力文書:1A/62 (ITU-T SCV)

出力文書:1A/TEMP/47

2025 年 1 月 30 日に開催された ITU-T SCV において、ITU-T SG5 で使用されている用語を確認した結果を周知するリエゾン文書(1A/62)を受領した。この中で ITU-T SCV からの文書では、9kHz 超を High Frequency と定義しているが、RR 第 2.1 条において、High Frequency は、「3-30MHz までの周波数範囲」として定義されており、High Frequency を ITU-T が独自に 9 kHz 超と定義することは、国際的な規則との整合性を欠くこととなる。上述の事実や ITU-T 及び関連するSGに対し、無線通信に係る事項については、ITU-R の所掌範囲であり、CV197F に従って、協力及び調整をすることを奨励する旨を主とする返答リエゾン文書(TEMP/47)が作成され、承認された。

## 6 文書一覧

### 6.1 入力文書

文書 番号	提出元	表題	担当 WG	出力文書 TEMP/
43	Acting Chair, WP 1A	Report on the first 2023-2027 meeting of Working Party 1A (Geneva, 12-19 June 2024)	ブレナリ	了知
43 +Ann.1	Acting Chair, WP 1A	Note from the Acting Chair of Working Party 1A to the Chair of the CPM-27 - Identification of Working Party 1A as a contributing group under WRC-27 agenda item 1.10	1A-3	了知
43 +Ann.2	Acting Chair, WP 1A	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2422-2 - Visible light for broadband communications	1A-1	33 Rev.1
43 +Ann.3	Acting Chair, WP 1A	Reply liaison statement to the ITU-T Standardization Committee for Vocabulary (SCV) on terms contained in ITU-T Study Group 5 draft Recommendations (copy for information to ITU-T Study Group 5)	1A-1	議論なし
43 +Ann.4	Acting Chair, WP 1A	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.2110-1 - Guidance on frequency ranges for operation of non-beam wireless power transmission for electric vehicles	1A-2	42 Rev.1
43 +Ann.5	Acting Chair, WP 1A	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2451-1 - Assessment of impact study on radiocommunication services from wireless power transmission for electric vehicle operating below 30 MHz	1A-2	40
43 +Ann.6	Acting Chair, WP 1A	Reply liaison statement to Subcommittee H of CISPR - Information on non-beam wireless power transmission for electric vehicles	1A-2	-
43 +Ann.7	Acting Chair, WP 1A	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.2151-0 - Guidance on frequency ranges for operation of wireless power transmission via radio frequency beam for mobile/portable devices and sensor networks	1A-2	41 Rev.1
43 +Ann.8	Acting Chair, WP 1A	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2392-1 - Applications of wireless power transmission via radio frequency beam	1A-2	29 Rev.1
43 +Ann.9	Acting Chair, WP 1A	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2505-0 - Impact studies and human hazard issues for wireless power transmission via radio frequency beam	1A-2	43 Rev.1
43 +Ann.10	Acting Chair, WP 1A	Reply liaison statement from Working Party 5D to Working Party 1A (copy to Working Parties 4C, 5A, 7C and 7D for information) - Beam Wireless Power Transmission (WPT) operating in the frequency band 24.1-24.15 GHz	1A-2	-
43 +Ann.11	Acting Chair, WP 1A	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2057 - Studies related to the impact of devices using ultra-wideband technology on radiocommunication services	1A-3	議長報告に添付 (C/104 Annex 8)
43 +Ann.12	Acting Chair, WP 1A	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[UWB.EVOLUTION] - Evolution of devices using ultra-wideband (UWB) technologies	1A-3	46
43 +Ann.13	Acting Chair, WP 1A	Terms of Reference of the Correspondence Group on Report ITU-R SM.[UWB.EVOLUTION]	1A-3	議論なし
43 +Ann.14	Acting Chair, WP 1A	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[THZ.SPEC] - Technical and operational characteristics of terrestrial terahertz spectroscopy/ISM and SRD applications of industry automation in shielded environments in the frequency range 71-275 GHz	1A-3	議論なし
43 +Ann.15	Acting Chair, WP 1A	Working document towards a preliminary draft new ITU-R Report SM.[RADIOCOMMUNICATION SERVICES ABOVE 275 GHZ] - Technical and operational characteristics and spectrum use of radiocommunication services in the frequency ranges above 275 GHz	1A-3	31
43 +Ann.16	Acting Chair, WP 1A	Draft liaison statement to Working Parties 5A, 5B, 5C, 7C AND 7D - Technical and operational characteristics and spectrum use of	1A-3	議論なし

文書 番号	提出元	表題	担当 WG	出力文書 TEMP/
		radiocommunication services in the frequency ranges above 275 GHz		
43 +Ann.17	Acting Chair, WP 1A	Liaison statement to ETSI on Terahertz communications	1A-3	了知
43 +Ann.18	Acting Chair, WP 1A	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.328-11 - Spectra and bandwidth of emissions	1A-3	30 Rev.1
43 +Ann.19	Acting Chair, WP 1A	Terms of Reference for the Correspondence Group on EMC Related Interference and Coexistence of Wired Telecommunications Systems with Radiocommunication Systems	1A-1	持ち越し
44	Chair, CPM-27	Information on the preparation of texts for the draft CPM Report to WRC-27	1A-2, 1A-3	了知
45	ITU-T SG15	Liaison statement on the new version of the access network transport (ANT) standards overview and work plan	1A-1	了知
46	ITU-T SG15	Liaison statement on the new version of the home network transport (HNT) standards overview and work plan	1A-1	了知
47	Netherlands	Required EMC emission levels in mm wave bands	1A-1	了知
48	APT Wireless Group	Liaison statement to ITU-R Working Party 1A - Liaison statement to ITU-R Working Party 1A on AWG deliverables in the frequency above 252 GHz	1A-3	了知
49	WP 7D	Reply liaison statement to Working Party 1A (copy to Working Parties 4C, 5A, 5D, 7C for information) - Beam Wireless Power Transmission (WPT)	1A-2	43 Rev.1, 49
50	WP 4C	Reply liaison statement to Working Party 1A - Beam-Wireless Power Transmission (WPT)	1A-2	37, 43 Rev.1
51	WP 1B	Liaison statement to the ITU Coordination Committee for Terminology (copy to ITU-R Working Party 1A) - Proposal to add a UWB abbreviation to the ITU Terms and Definitions database	プレナリ	了知
52	WP 6A	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 15 on the role of powerline telecommunications in home-networking (copy to ITU-T Study Group 5 and ITU-R Working Parties 1A, 5C, 6B, 7A and 7D for information)	1A-1	了知
53	WP 6A	Liaison statement to CISPR/H (copy for information to ITU-R Study Group 1 and Working Parties 1A, 5A and 7A) - Update to broadcasting services protection requirements in the CISPR radio services database	1A-1	了知
54	CCT	Liaison statement to ITU-T Study Group 12 and to ITU-R Working Parties 1A and 5D - Clarifications on the term "conducted radio frequency connection" and its definition	1A-1	了知
55	CCT	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 1B and ITU-T Study Groups 11, 17 and 20 (copy to ITU-R Working Party 1A) - Addition of the UWB abbreviation to the ITU Terms and Definitions database and request to provide a definition for this term	プレナリ	了知
56	CISPR	Liaison letter from CISPR/H to ITU-R on CISPR 12 to Ed7.0	1A-1	了知
57	ETSI ISG THz	Liaison statement to key SDOs on the publication of GR THz 003 and GR THz 004	1A-3	了知
58	ITU-T SG12	Liaison statement on vocabulary matters (radio frequency and network scenario)	1A-1	了知
59	ITU-T SG20	Liaison statement on revised title and Terms of Reference of Joint Coordination Activity on Internet of Things and Smart Cities and Communities (JCA-IoT and SC&C)	プレナリ	了知
60	SCV	Liaison statement on the definitions of the terms "Out of band (PLC)" and "PLC operating bandwidth" from ITU-T Study Group 5	1A-1	32 Rev.1
61	SCV	Liaison statement on the definition of the term "spark-over voltage" from ITU-T Study Group 5	プレナリ	了知
62	SCV	Liaison statement on the definitions of the terms from ITU-T Study Group 5	1A-3	47
63	WP 5D	Reply liaison statement to Coordination Committee for Terminology (copy to ITU-T Study Group 12 and ITU-R Working Party 1A) - Clarifications on the term "conducted radio frequency connection" and its definition	1A-1	了知
64 Rev.1	ITU-T SG2	Liaison statement on request for input on Quality of Service	プレナリ	了知



文書 番号	提出元	表題	担当 WG	出力文書 TEMP/
		(QoS) and Electromagnetic Fields (EMF) in the context of indoor coverage technologies		
65	Russian Federation	Proposed modifications to the preliminary draft new section 5, "Features of the necessary bandwidth", for Recommendation ITU-R SM.328-11 - Spectra and bandwidth of emissions	1A-3	30 Rev.1
66	WP 6A	Liaison statement to ITU-T Study Groups 5 and 15, and to CENELEC on developments with low frequency powerline communications (copy to ITU-R Working Party 1A for information)	1A-1	了知
67	WMO	Preliminary position on WRC-27 agenda - Preliminary WMO position on the World Radiocommunication Conference 2027 (WRC-27) agenda	1A-2, 1A-3	了知
68	ITU-T SG15	Liaison statement on the latest updates of access network transport (ANT) and home network transport (HNT) standards overviews and work plans	1A-1	了知
69	WP 7C	Liaison statement to Working Party 1A - Beam wireless power transmission (WPT)	1A-2	38、43 Rev.1
70	ITU-T SG15	Liaison statement on satellite to satellite free space optical communication	1A-1	了知
71 Rev.1	ITU-T SG15	Liaison statement on free-space optics systems related aspects for G.fso	1A-1	34
72	Chair, UWB CG	Report of activities	プレナリ、 1A-3	了知
73	China	Proposed preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2451-1 - Assessment of impact on radiocommunication services from wireless power transmission for electric vehicle operating below 30 MHz	1A-2	40
74	China	Working document towards preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2422-2 - Visible light for broadband communications	1A-1	33 Rev.1
75	CCT	Liaison statement to ITU-R Working Party 1A (copy to ITU-T Study Group 5) - Request of feedback on terms and definitions proposed by ITU-T Study Group 5 and submitted to the CCT for validation	1A-1	44(返答リエゾン文書を作成したが、発出に至らず)
76 Rev.1	Netherlands	Unwanted electromagnetic radiation (UEMR) and Question ITU-R 243/1	1A-1	45
77	WP 5C	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 Question 6/15 (Copy to ITU-R Working Parties 1A, 3J, 3M and Study Group 5) - Free-space optics systems related aspects for G.fso	1A-1	了知
78	Director, BR	Additional information on the summary of conclusions of the 32nd meeting of the Radiocommunication Advisory Group for the attention of all ITU-R Study Groups and Working Parties	プレナリ	了知
79	Brazil	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2392-1 - Applications of wireless power transmission via radio frequency beam	1A-2	29 Rev.1
80	United States	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2451-1 - US proposal for updates	1A-2	40
81	United States	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.2110-1 - US Proposal for Updates and Elevation	1A-2	42 Rev.1
82	United States	Proposed revisions to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[UWB.EVOLUTION] - Evolution of devices using ultra-wideband (UWB) technologies	1A-3	46
83	United States	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2505-0 - Impact studies and human hazard issues for wireless power transmission via radio frequency beam	1A-2	43 Rev.1
84	United States	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.2151-0 - Guidance on frequency ranges for operation of wireless power transmission via radio frequency beam for mobile/portable devices and sensor networks	1A-2	41 Rev.1
85	Korea (Rep. of)	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.2110-1 - Guidance on frequency ranges for operation of non-beam wireless power transmission for electric vehicles	1A-2	42 Rev.1
86 Rev.1	WP 5B	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B - The On-Tune Rejection (OTR) in Recommendation ITU-R SM.337 and	1A-3	48、49

文書 番号	提出元	表題	担当 WG	出力文書 TEMP/
		Recommendation ITU-R M.1461		
87	Chair, CG on EMC	Recent developments concerning, EMC limits and standards, broadband access and in-premises networking, RF noise in the environment, and ISM matters - (Question ITU-R 221-2/1)	プレナリ、1A-1&2	了知
88	Japan	Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[RADIOCOMMUNICATION SERVICES ABOVE 275 GHZ] - Technical and operational characteristics and spectrum use of radiocommunication services in the frequency ranges above 275 GHz	1A-3	31
89	Japan	Proposal for a draft liaison statement to ETSI ISG THz - Publication of ETSI GRs THz 003 and 004	1A-3	入力文書のま ま持ち越し
90	Japan	Proposal for a draft liaison statement to APT Wireless Group - AWG deliverables in the frequency above 252 GHz	1A-3	入力文書のま ま持ち越し
91	Japan	Proposal for development of new Report on the usage overview of Wireless Power Transmission (WPT)	1A-2	入力文書のま ま持ち越し
92	United Kingdom	Proposed draft clarifications to "features of the necessary bandwidth", for Recommendation ITU-R SM.328-11 - Spectra and bandwidth of emissions	1A-3	30 Rev.1
93	United Kingdom	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.2110-1 - Guidance on frequency ranges for operation of non-beam wireless power transmission for electric vehicles	1A-2	42 Rev.1
94	ATDI	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2451-1	1A-2	40
95	ATDI	Compiled preliminary revision of Recommendation ITU-R SM.2110-1 - Guidance on frequency ranges for operation of non-beam wireless power transmission for electric vehicles	1A-2	42 Rev.1
96	Germany	Working document towards a preliminary draft Report ITU-R SM.[UWB.EVOLUTION] - Evolution of devices using ultra-wideband (UWB) technologies	1A-3	46
97	Germany	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1755-0 - Characteristics of ultra-wideband technology	1A-3	入力文書のま ま持ち越し)
98	India	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.2151-0 - Guidance on frequency ranges for operation of wireless power transmission via radio frequency beam for mobile/portable devices and sensor networks	1A-1, 1A-2	41 Rev.1
99	SG 1 Rapp. to CISPR on WPT	Report on CISPR activities from June 2024 to June 2025 on WPT issues	1A-2	-
100	WP 3M	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 Question 6/15 (copy to ITU-R Working Parties 1A, 5C) - Free-space optics systems related aspects for G.fso	1A-1	34
101 Rev.1	BR, SG	List of documents issued (Documents 1A/43 - 1A/102)	-	-
102	Chair, WP 1B	Note to the Chair of Working Party 1A - UWB abbreviation and definition for addition to the ITU Terms and Definitions database	1A-3	35 Rev.1

#### その他の入力文書

文書 番号	提出元	表題	担当 WG	出力文書 TEMP/
1/1 Rev.1	Chair, SG 1	Assignment of texts to the Study Group 1 Sub-Groups	プレナリ	了知
1/27 Rev.1	Chair, SG 1	Summary Record of the meeting of Radiocommunication Study Group 1 (Geneva, 20 June 2024)	プレナリ	了知
CA/270 (Add.1)	BR	Results of the first session of the Conference Preparatory Meeting for WRC-27 (CPM27-1)	1A-3	了知

## 6.2 出力文書

1A/ TEMP	担当 WG	表題	入力文書 (1A/)	処理
29 Rev.1	1A-2	Preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2392-1 - Applications of wireless power transmission via radio frequency beam	43(Anne x 8)、79	議長報告に添付 (C/104 Annex 5)
30 Rev.1	1A-3	[Preliminary] draft revision of Recommendation ITU-R SM.328-11 - Spectra and bandwidth of emissions	43 (Annex 18)、65、 92	SG1に上程
31	1A-3	For information only: [Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[ACTIVE SERVICES BETWEEN 275 AND 450 GHZ] - Technical and operational characteristics of active services in the frequency range between 275 and 450 GHz	1A/43 (Annex 15)、90	議長報告に添付 (C/104 Annex 7)
32 Rev.1	1A-1	Draft reply liaison statement to the ITU Coordination Committee for Terminology (CCT) and to ITU-T Study Groups 5 and 15	60	発出
33 Rev.1	1A-1	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2422-2 - Visible light for broadband communications	43 (Annex 2)、74	議長報告に添付 (C/104 Annex 2)
34	WP1A	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 Question 6/15 (copy to ITU-R Working Parties 3M & 5C) - Free-space optics systems related aspects for G.fso	71 Rev.1	発出
35 Rev.1	Chair, WP1A	[Draft] note to the Chair of Working Party 1B - UWB abbreviation and definition for addition to the ITU Terms and Definitions database	102	発出
36 Rev.1	Chair, WG 1A-2	Meeting Report of Working Group 1A-2 - Wireless power transmission (WPT) and related issues	-	-
37 Rev.1	1A-2	Draft reply liaison statement to Working Party 4C - Beam-Wireless Power Transmission (WPT)	50	発出
38	1A-2	[Draft] Reply liaison statement to Working Party 7C - Beam wireless power transmission (WPT)	69	発出
39	1A-2	[Draft] Reply liaison statement to Working Party 7D (copy to Working Parties 4C, 5A, 5D and 7C for information) - Beam Wireless Power Transmission (WPT)	49	発出
40	1A-2	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2451-1 - Assessment of impact on radiocommunication services from wireless power transmission for electric vehicle operating below 30 MHz	43 (Annex 5)、73、 80、94	議長報告に添付 (C/104 Annex 6)
41 Rev.1	1A-2	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.2151-0 - Guidance on frequency ranges for operation of wireless power transmission via radio frequency beam for mobile/portable devices and sensor networks	1A/43 (Annex 7、	議長報告に添付 (C/104 Annex 3)
42 Rev.1	1A-2	[Preliminary] draft revision of Recommendation ITU-R SM.2110-1 - Guidance on frequency ranges for operation of non-beam wireless power transmission for electric vehicles	43 (Annex 4)、81、 85、93、 95	SG1に上程
43 Rev.1	1A-2	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R SM.2505-0 - Impact studies and human hazard issues for wireless power transmission via radio frequency beam	1A/43(A nnex 9)、 49、50、 69、83	議長報告に添付 (C/104 Annex 4)
44	1A-1	Draft reply liaison statement to the ITU Coordination Committee for Terminology (CCT) and ITU-T Study Group 5 - Request of feedback on terms and definitions proposed by ITU-T Study Group 5 and submitted to the CCT for validation	75 Rev.1	発出に合意できず
45	1A-1 (EMC/ EMI)	Draft reply liaison statement to Working Party 7D on unwanted electromagnetic radiation (UEMR) and Question ITU-R 243/1	76 Rev.1	発出に合意できず
46	1A-3	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[UWB.EVOLUTION] - Evolution of devices using ultra-wideband (UWB) technologies	43(Anne x 12)、 82、96	議長報告に添付 (C/104 Annex 9)

1A/ TEMP	担当 WG	表題	入力文書 (1A/)	処理
47	1A-3	Draft reply liaison statement to the Coordination Committee for Terminology (CCT) (copy to ITU-R Study Group 3 and ITU-T Study Group 5) - Definitions of the terms from ITU-T Study Group 5	62	発出
48	1A-3	[Preliminary] Draft editorial revision of Recommendation ITU-R SM.337-6 - Frequency and distance separations	-	SG1 に上程
49	1A-3	Draft reply liaison statement to Working Party 5B (copy for information to Working Parties 1B, 4A, 4C, 5A, 5C and 5D) - The On-Tune Rejection (OTR) in Recommendation ITU-R SM.337 and Recommendation ITU-R M.1461	86 Rev.1	発出
50 Rev.1	WP1A	Liaison statement to Working Party 5D - Blocking of IMT receivers by the emissions of beam WPT	-	発出
51	Chair, WG 1A-3	Working Group 1A-3 Meeting Report - WRC-31 preliminary agenda item 2.1, WRC-27 Agenda items and other issues	-	-
52	Chair, WG 1A-1	Draft Meeting Report of Working Group 1A-1	-	-